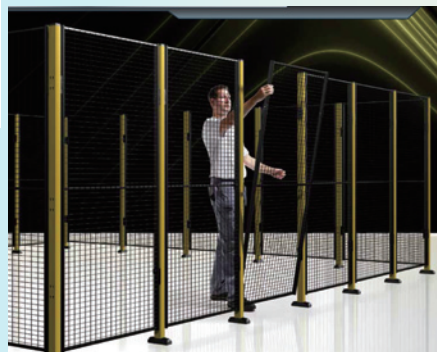




モジュラー式で組み立てが一人でも簡単に行える安全柵『X-Guard』。



Waldmann テビジオ
TEVISIO-LED検査ライト[ドイツ製]

抗感があって、難しい。日本の欧米と違う、影の部分といえる」。

10兆円の経済効果！

また、2012年来日したラガルドIMF理事が、「日本は女性の社会進出が進まなければ衰退する」と発言していたが、この点も10兆円規模で日本の経済成長を左右する。「中国はいうに及ばず、韓国でも大統領は女性だし、500人以上の企業には一定数の女性役員をおかなければならない法律もあり、女性の社会進出をバックアップしている。日本も、意識を変えていかなければ、せっかくの人材を無駄にしてしまう」。

『キャプテンインダストリーズ』は、機械輸入商社で女性向けの商材を扱っているとは言いがたいが、女性が若い力から、40〜50歳代まで活躍している。支店マネージャーも数人いて、まさに女性活用企業の先駆者だ。「女性が活躍している企業は、職場環境や、企業倫理がしっかりしている証でもある、職員のモチベーションアップにも



株式会社 キャプテンインダストリーズ

☎ 03-5674-1161

☎ 03-5674-1190

㊤ 東京都江戸川区船堀4-8-8 キャプテンビルディング
<http://www.capind.co.jp/index.php>

(ライター/大倉愛子)

なる。しかし、女性側も更なる努力を考えて欲しい。仕事を離れると、権利など同等を主張するが、いざ仕事になると責任から尻込みしてしまうという。職業人である自覚を持って、主張するところは主張し、実力を発揮して欲しい」。女性は、職場に目標とするロールモデルが不在で、男性のように先が見通せないという悩みを聞くが、『キャプテンインダストリーズ』ではその心配はあまりなさそうだ。今後も目が話せない注目企業だ。



イタリアLOSMA社製エアフィルター
「ダーウィンシリーズ」
イタリアLOSMA「ミストコレクター」



代表取締役社長
渡辺敏氏

2020年の東京オリンピック 女性活用が日本の行方を占う

製造現場をキレイな空気に

本誌でもおなじみの『キャプテンインダストリーズ』は、近年注力している職場の安全管理工場設備のほかに、製造現場の環境向上設備を進めている。粉塵、ミストなどを加工機から出さずに直接集気、清浄化する。イタリアLOSMA社製エアフィルター「ダーウィンシリーズ」が今、オススメだ。

未来予測2020年の日本

渡辺社長にこれから2020年の東

京オリンピックに向けた日本経済の見通しをうかがった。「前回の東京オリンピックは、日本が戦後復興のとはぐちに着いたところで、その後の高度成長期の入り口だった。当時アメリカで勤務中だったので、ロサンゼルスではテレビでもあまり報道されず、よその国のオリンピックという感じだった。今東京において次回の東京オリンピックを考えると、日本の成熟を実感する。東京招致のプレゼンにしても、アピールが上手くなったなど感慨深いものがある。洗練されてきたというか、日本が大人になったなど。そうすると、成熟社会の常で、没落していくか、低め安定するか、のちほど分かれ道に差し掛かると思う」。少子化・人口減少社会になり、フランスのように出生率が改善した国もありますが、「フランスは、出生率改善が上手くいったが、他にも移民の増加で人口減少を補っている。表に出てこない数字だが、アメリカもいつも移民を受け入れ、平均年齢は低く、若くて強い社会だ。日本は、国民の意識に移民受け入れに対する抵



大阪府から研究開発資金を獲得、大阪府立大学と共同研究を経て、塩昆布風発酵食品「舞昆」を開発した。

2020年オリンピック東京開催が決まり、9月の日本総合医療学会大会では「東京オリンピックに向け世界に誇れる日本の食文化を創ろう」とのスローガンが掲げられた。そして現在、世界的に長寿食として白ごはんを主食として海藻や発酵食品を中心とする和食文化が注目を集めている。そんな中、世界で初めての塩昆布風発酵食品を開発した大阪の「株式会社舞昆のこうはら」の主力商品「舞昆(まいこん)」が、ごはんのお供として数々の賞を受賞し関西

北海道噴火湾近くで収穫した昆布を大阪で3年熟成させ、直火仕込製法で旨みを凝縮。



五輪が関心高める健康食品 天然酵母が育てた「舞昆」



2013年秋竣工した新社屋 舞昆のこうはら「加賀屋御殿」アクセス／大阪市営地下鉄四つ橋線玉出駅南西約7分

株式会社 舞昆のこうはら

☎ 06-4702-1101

☎ 06-4702-1122

④ 大阪府大阪市住之江区東加賀屋1-3-40
http://www.maikon.jp/

(ライター/斎藤 紘)

で絶大な人気を誇っている。白ごはんが大好きになる「舞昆」は、アケビの花びらの天然酵母を取り出し、北海道噴火湾近くで採れたダシ昆布を発酵させて旨味を醸造、ギャバなど機能性成分を含む美味しいだけではなく健康にもいい発酵食品だ。リンゴやミカンをミリンや砂糖の代わりに炊き込み味付けしているのが食欲をそそる。同社の鴻原森蔵社長は「舞昆」が世界中に広まることこそが日本食が見直されることになり、やがて病気のない健康長寿な世界が現れる」と、夢見ている。



「てあとる あらそ〜か」所属
(左から)高島智恵氏／やつかひとし氏／川口まこ氏



埼玉県草加市から煎餅の香りに乗せて世界に音楽を発信するレーベル「てあとる あらそ〜か」代表のやつかひとしこと、藤田信行氏。作詞・作曲を手がけ、自らも歌って踊るちょっと個性的な人であるが「やつか整形外科内科」の院長というもう一つの顔を持っている。経営者でありアーティストであるやつか氏は今回招致が決まった2020年のオリンピックをこう語る。

2020年東京オリンピック、どのような変化があるか、やつか氏自身にとっても転機となる7年後である。



7年たったら 辞めていいんだよ



てあとるあらそ〜か代表
やつかひとしこと
藤田信行氏
昼間は、やつか整形外科
内科で院長として勤務して

草加歌劇場

☎ 048-928-6218

☎ 048-924-3212

④ 埼玉県草加市谷塚1-20-20

E-mail ● yatsuka@minos.ocn.ne.jp
http://teatro-alla-soka.com/

でもオリンピックは、7年後の自分のあり様を考えさせ、そして人生の節目を与えてくれるもの。招致が決定したとき、胸にうかんだのは「引退の二文字でした」。続けてやつか氏はこれまでの人生を振り返り、「たしかに人にも恵まれ、ラッキーも多かったけれど、やはり患者の話しを一日聞くのは楽な仕事ではなく、気力体力ともに落ちてきました。あと7年で辞めていいんだよ、とオリンピックがやさしく言ってくれました」と、自身の想いを語った。

(ライター/本名広男)